

ナイアガラカット取扱説明書

安全上のご注意

ここに示した注意事項は危害や損害を未然に防止するために必ず読んでから作業して下さい。



禁止事項(やってはいけないこと)



指示事項(守らなければいけないこと)



警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症を負う可能性があります

禁止事項

- 風が強い日や吹雪時は使用しないでください。建物やご自身に危害を及ぼす恐れがあります。またポールやロープが風にあおられ作業が困難になります。
- 雪庇を落とす箇所やその周囲に人がいないことを確認してから作業をしてください。また雪庇を落とす際は雪や留具が落下してきても、回避できる離れた安全な場所で作業願います。人身事故につながる恐れがあります。
- 固い雪や重い雪が落ちる際にロープが引っ張られることで、体も引っ張られる可能性がありますので、雪の下から十分離れた位置から作業願います。人身事故につながる恐れがあります。
- 電線に接触させないでください。感電の危険性があります。
- 不安定な足場(はしご・脚立等)に上がって使用しないでください。転落の危険性があります。
- 本製品を本来の用途以外に使用しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

指示事項

- ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、初めての作業では必ず練習をしてください。
- ポールの傾きなどで器物を損壊しないよう、安全な場所で作業を行ってください。
- 定期的に製品の状態を確認し、異常が見られた場合は使用を中止してください。



注意 誤った取扱いをしたときに、物的損害や傷害を負う可能性があります

禁止事項

- 氷った雪には使用しないでください。製品が破損する可能性があります。

指示事項

- 雪庇が大きい場合は、無理に作業を行わないでください。専門業者にご相談ください。
- 雪を落とす際に、安定した姿勢で作業してください。転倒する可能性があります。
- アンテナや電線がある場合には障害物を避けて分割して作業して下さい。ロープが引っ掛かる可能性があります。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ロープはコンクリートの角やレンガなど荒い面に擦れると切れる可能性があります。
- ロープに素線切れなどないか使用前に必ず点検してから使用してください。

その他

- 本製品の使用に際して生じた事故や損害については、当社は一切責任を負いかねます。
- ご自身で作業を行うことが困難な場合は、専門業者へ依頼してください。
- 本品を廃棄する場合は、自治体の定める方法に従って廃棄してください。

お問い合わせ先

株式会社 北海道ダイエィテック

電話番号 011-667-1020 受付時間 平日 9:00~17:00

メールアドレス info@h-det.com

作業方法動画説明

作業方法の説明動画（10分）をYouTubeへ掲載しております。

動画をみると理解が深まりますので、視聴してから作業してください。

【<https://youtu.be/ahHAsFT0h-g>】 「ナイアガラカット説明動画」で検索も可



作業説明書 HP 掲載

作業説明書もナイアガラカット HP に掲載しております（スマホで確認用）。



1. 部品一覧

- (1) 伸縮ポール：①カーブポール ②連結パイプ ③2段伸縮ポール ④3段伸縮ポール
 (2) ロープ一式：①リール（ロープ巻） ②補助ロープ（ロープ引っ掛け時の取外用）

※ロープは紫外線で劣化するため、必ず屋内で保管願います

2. 伸縮ポールの組立方法

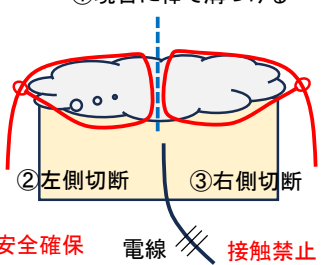
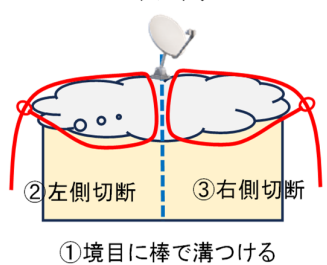
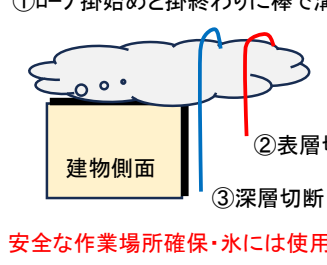

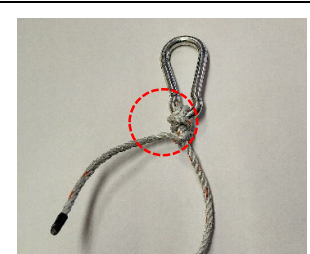
(1) 住宅用【7m ポール】

① 組立前	②組立後	
納入時は3分割して納入	パイプは横溝に合わせて連結	

(2) 店舗用・大規模用【8.5mポール】

①組立前	② 組立後	③連結部拡大
納入時は4分割して納入	パイプは横溝に合わせて連結 2段ポールは3段ポールの中へ入れる	連結パイプは2段伸縮ポール先端の2つ穴にボルト2本で固定

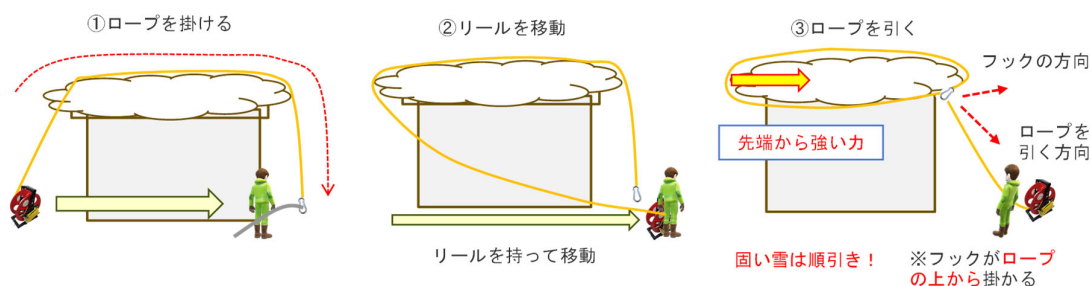
3. 作業前確認

①電線ある場合	②アンテナ等確認	③雪庇状況確認
<p>①境目に棒で溝つける</p>  <p>安全確保 電線 接触禁止</p>	<p>アンテナ</p>  <p>①境目に棒で溝つける</p>	<p>①ロープ掛始めと掛終わりに棒で溝つける</p>  <p>安全な作業場所確保・氷には使用しない</p>
<p>人が入らないように安全確保。 窓ガラスなど破損防止措置。 電線がある場合は分割して実施</p>	<p>アンテナなど障害物ある場合には分割して実施。境目に棒で溝を付けるとロープを掛けやすい。</p>	<p>雪庇状況確認し安全な作業位置決定。 雪庇が大きい場合は表層・深層を段階的に実施。なお氷は切れないため使用しないで下さい</p>
④屋根や壁の状況確認	⑤ロープ状態確認	⑥ロープ結び目確認
<p>屋根に突起物が多い場合や、レンガやブロック塀など壁が荒い箇所に、ロープがこすれると切れる可能性がありますので、こすれないように注意願います</p>		
<p>ロープがこすれて摩耗してくると切れる可能性が高くなりますので、使用しないでください</p>	<p>写真のように毛羽立ってくると、交換時期です(交換する場合は表紙のお問合せ先へご連絡下さい)</p>	<p>フックとロープの結び目が緩んでないか、フックを引っ張って固定を確認</p>

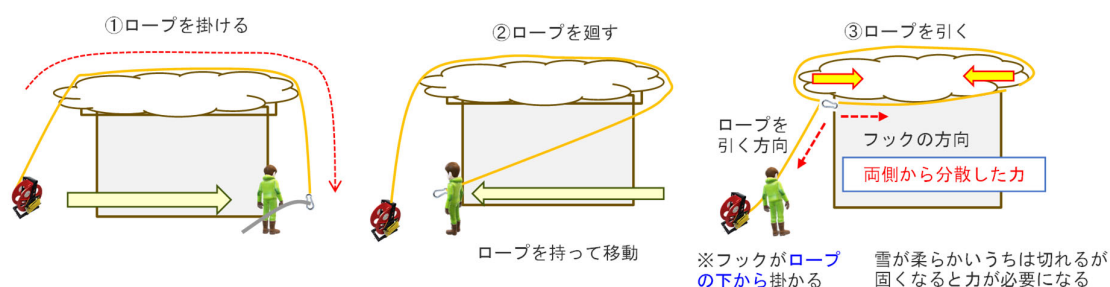
【重要： 順引き・逆引きについて】

ロープの掛け方によって順引きと逆引きがありますので、ロープを引く位置を決めて作業願います。

(1)順引き(強い力で引ける)：ロープを掛けたあとに、**リールを移動**させるとフックとロープを引く方向が同じになるため先端側から強い力で切れます



(2)逆引き(力は弱くなる)：ロープを掛けたあと **ロープを持って移動**するとフックとロープを引く方向が逆になるため、両側に力が分散することになります(雪が柔らかいうちは切れるが固くなると力が必要になる)

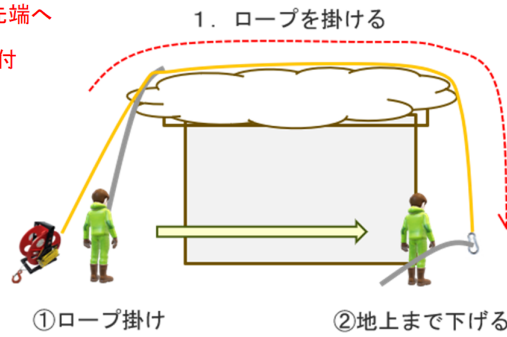


4. ロープ掛け

① フック取付



ポール先端へ
フック取付



④ 移動



雪底の上に
沿ってロープ
を掛ける
【重要】ポール
を身体に密着
させると先端
が安定する

② ポール伸展



ピン出張り確認



③ ロープ掛け



⑤ ポール縮め



ピン穴が見える位置まで下段側のポールを少し伸ばし、ポールの境目を手で抑えながら伸ばして、ロックピンの出張りを確認(ピンの出張りを確認しないまま伸ばすとポールが抜けてしまうので注意)

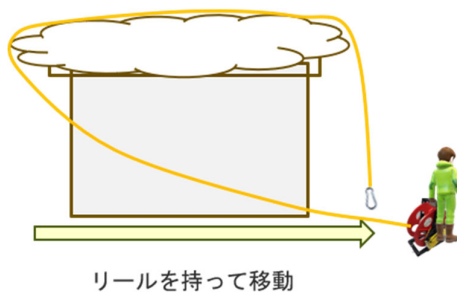
【重要】ロープのズレを防止するため、ポールを地上に立て、手で軽くロープを張りながら、ロープを雪底に食い込ませる

雪底端にロープを掛けポールを縮める。フックはポールに付けたまま寝かせておく(フックを外すと、次のリール移動時に屋根まで上がってしまうため)

もしポールが縮まなくなった場合は、一度ピン穴が見える位置まで引出し、ピンを完全に押し込んでからポールを縮める

5. リール移動

① リール移動



基本的にはリール自体をロープを掛け終わった場所まで持ってくる(順引き)
(フックをリール側へ持っていくと逆引きになるのと、表層の雪が落ちてくる可能性があるため)

② ロープ食込ませ



雪が落ちてくる可能性があるため軒下から離れて、ロープを伸ばしながらリールを持って移動

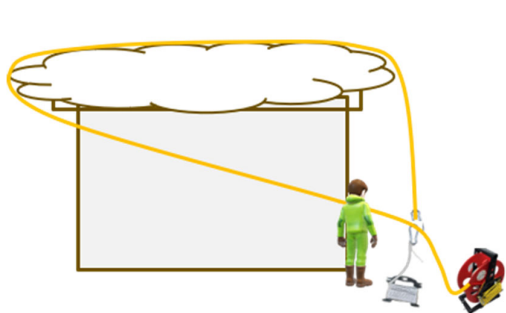


フック側
食込ませる

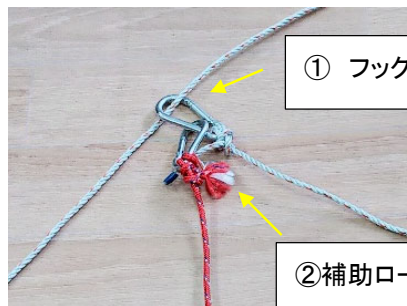
フックをポールから外し、リール側のロープを抑えた状態で、フック側ロープを希望位置に食い込ませ、ズレを防止

ポールは落雪のない場所へ移動

6. フック掛け



フックと補助ロープを掛ける



① フックをロープに掛ける

② 補助ロープをフックへ取付

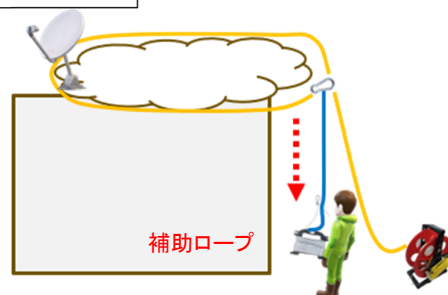
【重要】補助ロープはロープが屋根に引っ掛かり時に取り外すため、必ず取付して下さい

補助ロープない場合



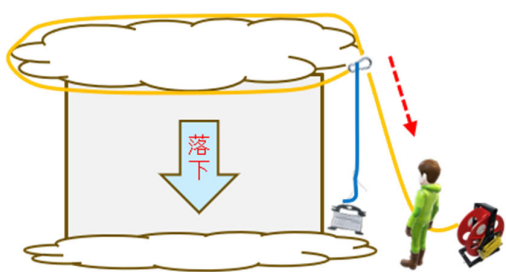
アンテナなどにロープが引っ掛かった場合に、ロープを下せなくなる

補助ロープあり



補助ロープでフックを地上に下ろすことで、ロープを回収できる(次ページに対処法あり)

7. 雪落とし作業



ロープで締めて落とす

① 雪庇落とし



② 固い雪対策



雪や留具など落下しても避けれるように屋根下から2m以上**十分離れた位置にて**、ロープを引いて雪庇を落としていく。


雪が落下する際には、フックが飛んでくる可能性や、ロープが落雪に引っ張られて、身体も引っ張られる可能性があるため、十分離れた位置から作業願います。

雪が固い場合は棒にロープを巻いて綱引きのように腰を落として、尻もちをつかないように半身で引く。




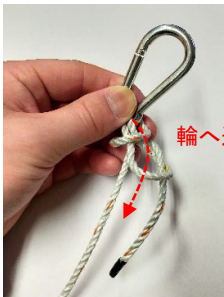

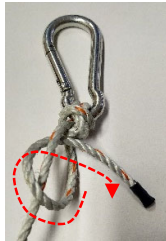
【重要】落雪は数百kgになることもあるため、十分離れて作業願います

固い雪を落とす場合、ロープが手に食い込んで痛くなるため、30cm程度の棒やパイプにロープを巻き、体重をかけて反動で引く。

8. ロープが引っ掛かった場合の対処法

① 補助ロープで下す	② ポールで外す	③ ロープ結び目ほどく
 <p>補助ロープでフックを下す</p>	 <p>ポールを引っ掛かり箇所まで上げる</p> <p>ロープを引いて外す</p>	 <p>結び目ほどく</p>  <p>リールを巻く</p>
補助ロープを引いてフックを下ろしてから、ロープをゆすって外す。	①でも外れない場合、フックをポールに取付、ポールを引っ掛かり箇所まで上げて、リール側のロープを引いて外す	②で外れない場合フックから結び目をほどいて、リールで巻いて回収する(フックを付けたままムリに引っ張ると抜けた瞬間フックが飛んでくるのでムリに引っ張らないこと)

9. ロープの結び方 (フックから外した場合の結び方)

① ロープを折返しフックへ通す	② 輪を折り返す	③ ロープを1周させる
 <p>下から上へ</p>	 <p>折り返す</p>	 <p>1周巻き</p>
ロープを折返した部分をフックの下から上へ通す	輪の部分を、フックを挟むように折返す	ロープ端を全てのロープを巻き込むように1周させる
④ ロープ端を輪の中へ通す	⑤ ロープを締める	⑥ ロープ端を一つ結び固定
 <p>輪へ通す</p>	 <p>両方引いて締める</p>	 <p>一つ結び追加</p>
ロープ端を輪の中へ通す	ロープ端とリール側ロープを締め、隙間のないように締める	ロープ端を一つ結びし、フックを引っ張って固定されていることを確認

【説明動画の最後でも、結び方を説明していますので参照願います】